シリーズ：一目瞭然！目で診る症例

「一目瞭然！目で診る症例」 問題編

柴崎 俊一¹⁾ 竹内 廉²⁾ 忽那 賢志³⁾

〔日内会誌 107：2539～2542, 2018〕

72歳の女性. 39℃の発熱と左下腿の紅斑を主訴に来院した. 紅斑は圧痛がなく, 熱感が軽微で, 境界明瞭であった(図1). 翌日には, 同様の紅斑が新たに複数出現した. 血液培養から, らせん状のグラム陰性桿菌を検出した.

問題

- 1) 疑われる起炎菌は何か.
- 2) 診断における血液培養上の注意事項は何か.

図1 来院時の左下腿の紅斑

¹⁾ひたちなか総合病院救急・総合内科, ²⁾徳山中央病院総合診療内科, ³⁾国立国際医療研究センター国際感染症センター
Series: Diagnosis at a Glance.

Shunichi Shibazaki¹⁾, Sunao Takeuchi²⁾ and Satoshi Kutsuna³⁾: ¹⁾Department of Emergency and General Internal Medicine, Hitachinaka General Hospital, Japan, ²⁾Department of General Internal Medicine, Tokuyama Central Hospital, Japan and ³⁾Department of Disease Control and Prevention Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan.

シリーズ：一目瞭然！目で診る症例

「一目瞭然！目で診る症例」 解答編

Key words *Helicobacter cinaedi*, 蜂窩織炎, 血液培養

解答

- 1) *Helicobacter cinaedi*
- 2) 血液培養での検出に時間を要するため、培養期間の延長を考慮すること

解説

Helicobacter cinaedi (*H. cinaedi*) はらせん状のグラム陰性桿菌で、ハムスター等の腸管に常在する。免疫不全患者の直腸炎や蜂窩織炎、菌血症の起炎菌として有名である¹⁾。近年、健常者の蜂窩織炎の起炎菌としても報告例が増加している²⁾。後述のように、他の蜂窩織炎と比べて再発しやすいことから、他の起炎菌と明確に区別して診断する必要がある。

*H. cinaedi*による蜂窩織炎は特徴的な所見を有する。一般的に急な発症で、高熱を伴う一方、紅斑の局所所見は軽微である。また、紅斑が非連続性に複数出現し得る³⁾。本症例も高熱を伴い、局所所見の軽微な紅斑が多発するという典型的な経過であった（図2）。

一方で、*H. cinaedi*は培養条件が厳しく、増殖速度が遅いことから、培養で検出しづらい。特に血液培養での検出には5日以上を要することもあり⁴⁾。多くの施設で血液培養を5日で終了することから、見落とす可能性があり、血液培養の延長を検討する。本症例も1セット目は5日目に、2セット目は7日目に血液培養が陽性と

図2 翌日に多発した左下腿と大腿の紅斑

図3 血液培養で陽性になった *Helicobacter cinaedi*

なった (図3).

また, *H. cinaedi*による蜂窩織炎は再燃しやすく, 治療に注意を要する. ペニシリン系やセフェム系等多くの抗菌薬に感受性を有するが, ニューキノロンは無効である. 長期の治療が必要であり, 2~6週間の抗菌薬投与が一般的である⁵⁾.

高熱を伴う局所所見の乏しい, 多発する蜂窩織炎では, 起炎菌として*H. cinaedi*を鑑別に挙げる必要がある. 治療期間等が他の蜂窩織炎と異

なるため, 起炎菌の同定が重要である. 局所所見が軽微であるにもかかわらず高熱を伴う蜂窩織炎や非連続性に複数の病変を有する蜂窩織炎では, *H. cinaedi*を臨床的に疑い, 血液培養の延長を積極的に考慮する.

著者のCOI (conflicts of interest) 開示: 本論文発表内容に関連して特に申告なし

文献

- 1) Burman WJ, et al : Multifocal cellulitis and monoarticular arthritis as manifestations of *Helicobacter cinaedi* bacteremia. Clin Infect Dis 20 : 564–570, 1995.
- 2) Kitamura T, et al : *Helicobacter cinaedi* cellulitis and bacteremia in immunocompetent hosts after orthopedic surgery. J Clin Microbiol 45 : 31–38, 2007.
- 3) Shimizu S, Shimizu H : Cutaneous manifestations of *Helicobacter cinaedi* : a review. Br J Dermatol 175 : 62–68, 2016.
- 4) 田中孝志, 他 : 血液培養からの*Helicobacter cinaedi*及びその類縁菌の分離培養と簡便同定法に関する検討. 感染症誌 81 : 700–706, 2007.
- 5) Kawamura Y, et al : Clinical and bacteriological characteristics of *Helicobacter cinaedi* infection. J Infect Chemother 20 : 517–526, 2014.